



年が変わり、住まい塾も心新たに動き出しています。様々な出来事があり変化の多い世の中ですが、今年も美しい空間と豊かな暮らしを実現するための活動を続けて参ります。

今回の住まい塾だよりは、築31年目のユーザー 榎田さんから寄せいただいた手記をご紹介します。

「住まい塾の家に住んで」

ユーザー **榎田英二 美恵子**

私たちの希望は「結露のない家」「密閉性のない家」「木で作られた家」でした。冬になると耳鼻科通いを続ける子供たちに健康になってほしいとの願いからでした。

娘9歳、息子5歳の時に引っ越しました。それから31年、二人に住まい塾の家をどう思うか聞いてみました。

娘（広島在住） 京都の実家は、どこで寝転がっても気持ちのいい空間だなあと帰省するたびに思います。ケミカルなものが無く自然由来のものに囲まれているのがこんなに心地よいものなんだというのは、実家を離れて最低限の寝食の場所として建てられている賃貸物件に住むようになってから初めて分かった気がします。

吹き抜けがあって天井も高くてたっぷり空間のある家なので、冬に帰省するとより寒さを感じますが、自分がいかにいつも密閉されたちょっと不自然な空間で暮らしているかということに思い至ります。

引っ越してきて31年、床も柱も皮膚になじむような感じになって、時間が経つことで更に心地の良い場所になってきているんだなとも思います。メンテナンスが大変な部分もあると思うのですが、居心地の良い家だなとも思います。

息子（大阪在住） 家の形が変わっているね、あの大きな瓦屋根の家…とよく言われていた。友達の家に遊びに行くと、木で組み上げられた巨大な吹き抜けも、触れれば剥がれ落ちるデリケートな塗壁も、柱という柱からにじみ出る松脂も存在せず、幼心に自分は変わった家に住んでいるんだという気持ちになった。



長じて、他人と違うことが、ポジティブな意味を持つ場合もあることを解する年齢になると、変わった家は、その印象を大きく変えた。

広々とした吹き抜け、むき出しの大きな大黒柱。仏間の床(とこ)、玄関一面の塗壁。無垢の木材と塗壁が作り出す味わい深く落ち着いた空気、部屋の大きなガラス戸から見る四季折々の庭木の情景。人のと違った変わった家は、関わった人たちのこだわりと愛が詰まったすごい家だった。実家を出て暮らす今、そのすごさ、心地よさを余計に感じている。できれば二階の部屋の冬の寒さがもう少しマシであればもっといいな、と思う。

それぞれが、何が心地の良いことなのかをこの家に教えて貰い、五感を育てて貰ったのだと感じます。(娘も息子もいつの間にか耳鼻科に通わなくなっていました。)

榎田さんの家は平成元年に竣工。近年、水廻りやバルコニーなどいくつかの部分メンテナンスし、快適に住み続けてこられました。25年目にはシステムキッチンの扉を全て既製品の化粧板からマザクラの面材に交換、食洗機を撤去し引き出し式の収納に変更しました。30年目には浴室に暖房機と床下の断熱材を設置、浴槽や腰壁と床のタイルの交換で、暖かな浴室にリフレッシュしています。(2019年2月9日、3月4日付スタッフブログもご参照ください。) (編集委員)

古民家カフェ・ギャラリー とわ <とこ十和> をオープンしました

沼津の乾物屋<ひもの和助>さんを家族で訪れたのが、住まい塾の建物との初めての出会いでした。とても居心地の良い空間で、お店に置いてあったリーフレットを見て、会員の申し込みをしてから7~8年位になります。この静岡の牧之原市に、すこしでも活気をもたらししてくれるようなことをしたいなと思っていたところ、縁あって、築110年の古民家を手に入れることになり、住まい塾さんに改修工事を依頼して「古民家カフェ・ギャラリー」に蘇りました。

完成までにお世話になりました皆さまに心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました！

ランチは四季折々の、季節の和膳・洋膳、珈琲、和紅茶 などなど、ぜひ、お立ち寄りください。

とこ十和 店主 山本功子

所在地：〒421-0403

静岡県牧之原市中 734 番地

電話：0548-28-7887

営業時間：10:00~17:00

定休日：日曜日、月曜日

(日曜日に営業する場合があります)



◆ アンケートへのご協力ありがとうございました

ユーザーの皆さんへ、2020年9月に「~《住まい塾》からの案内について~」として今後のご案内の受け取り方についてのアンケートをお送りした所、多くの返信をいただきました。ご協力ありがとうございました。その中には、嬉しいコメントもありましたので、返信の御礼と共に一部ご紹介をさせていただきます。

- ※ 「住まい塾だより」を三十年近く拝読、保管しているため引き続き郵送でお送り頂ければ幸いです。
- ※ 早31年(竣工後)、年毎に住まい塾で正解の思いを強くする昨今です。住まい塾だよりが届く度、安らぎを実感する傘寿です。
- ※ 母が楽しみにしています。

その他多くの方から、ご案内や住まい塾だよりを “毎回楽しみにしています。”というメッセージをいただきました。高橋代表、スタッフ一同、大いに励みとなり、改めて感謝申し上げます。今後も住まい塾運動の広がりと共にこれまでのご縁を大切に活動をして参りたいと思います。(編集委員 菅谷 輝男)

- ◆ 前回(2020年9月)、ユーザー会員、お問い合わせの方へ向けて、今後のご案内についてのアンケートハガキをお送りさせていただきました。まだ返信をされていない方やハガキをなくされた方がおられましたら、東京本部、大阪本部へご連絡ください。